

令和6年度予算編成の基本的な考え方

1 現状の分析

安定した財政運営

- 市税収入は、6年連続で約100億円と安定して推移している
- 今後見込まれる財政需要に向け、基金の積立も順調に進んでいる
 - ◇ 財政調整基金（標準財政規模の12.4% → ^{令和3年度}14.7% ^{令和4年度} 県内市平均16.4%を若干下回る）
 - ◇ 公共施設保全基金（公共施設の再編・大規模改修に向けて積立）
- 骨太の方針では、地方一般財源総額は令和4年度地方財政計画と同水準が確保される見込み

財政運営上の考慮すべき事項

- ▲ 将来に向けた投資として、鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくり・（仮称）西部中学校整備や、インフラの長寿命化など、投資的経費の増加が見込まれる
- ▲ 骨太の方針に関して、令和7年度以降の地方一般財源総額については国の動向を注視する必要がある
- ▲ 物価高騰の影響については、経常的経費の増加が見込まれる

2 予算編成方針

しあわせ共感 安心のまち つるがしま

第6次総合計画 前期基本計画の
最終年度として
計画達成に向けた事業の推進

市民の健康と
暮らしを守る支援

- ・ 社会経済情勢の変化に応じた柔軟な支援

将来を見据えた魅力ある投資

- ・ 将来に向けた投資
（鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくり・公共施設再編等）
- ・ デジタル化・脱炭素化・子育て支援等の施策の推進

中長期的な視点に立った健全な行財政運営